海外ニュース

英国　2023 年８月８日　World Highways

■ レーンがディズニーワールド近くの改修プロジェクトに参加

Lane in upgrade project near Disney World

フロリダ州の交通局が１億 400 万米ドルのプロジェクトをレーンに委託した。これには南行きアポッカ―ヴァインランドロードから西行き４号線進入ランプへの再編成，北行き道路から西行き４号線への新ループランプの建設，アポッカ―ヴァインランドロードへの西行き４号線出口ランプの延長，道路再舗装，その他補助作業が含まれる。イタリアのウィビルド・グループの米国子会社であるレーンは，建設プロセスをできる限り持続可能なものにするためこのウィビルドの取組みの最新例でリサイクルアスファルト舗装，コンクリート，鋼を使用する予定である。

英国　2023 年８月 10 日　World Highways

■ メッシーナ海峡大橋，入札が開始される

Messina Strait bridge tender due?

イタリアの最新のメッシーナ海峡大橋は，間もなく入札が開始されるとイタリアのインフラ交通省が発表した。この巨大で高価な橋は，シチリア島とイタリア本土を結ぶ架橋となる。橋の長さは 3.7 ㎞，各方向に３車線で行き来する２本の鉄道線が敷かれる。橋塔は高さが 400 m で，工事は 2024 年半ばに開始される。橋の建設には技術的課題があるが，大きさにおいて史上最大となる。吊り橋として地震対策も行われることになる。フェリーに替わる橋の利用開始によって，観光など地元経済への活力になるともいわれている。

米国　2023 年８月 11 日　PR Newswire

■ フェロビアルがテキサスの４億ドル道路拡張プロジェクトでファイナンシャルクローズに到達

Ferrovial reaches financial close on $400 million highway extension project in Texas

世界的インフラオペレーターのフェロビアルが，子会社シントラが率いる NTE モビリティー・パートナーズ・コンソーシアムを通し，テキサスでノース・タラント・エクスプレス有料道路の資金調達を完了した。この新たな投資はフェロビアルのテキサスおよび全米市場への取組みの一例であり，同社はエクイティパートナーや出資者と連携し，地元のコミュニティーへ経済発展のチャンスを生みながら革新的なモビリティーソリューションを提供している。この改善によりテキサスの納税者に負担がかかることはない。

ドイツ 2023 年８月 11 日　BMDV

■ FAQ：本線橋の近代化について

FAQ zur Brückenmodernisierung

現在ドイツの高速道路網にある約４万強の本線橋のうち約 8,000 橋において，長期的に修繕または近代化改修が必要とされる。いずれも目下，安全性には問題ないものの，特殊車両の通行量，通行車両の総重量・軸重のいずれも増加しているため，将来的にも継続して安全に利用できるよう近代化が必要である。現在，道路・橋梁の維持には年額予算 46 億ユーロが拠出されているが，連邦デジタル交通省（BMDV）は 2025 年までに 50 億ユーロへの拡大を目指している。また工事実施の人材を確保するため，次世代の専門技術者の育成・資格授与にも投資している。工事の具体的な順序は，BMDV，連邦各州とアウトバーン社が共同で，交通上特に重要な区間と保守の緊急性が高い構造物を優先して決めている。なお，サステナビリティの観点から，BMDV ではインフラの新規建設より保守維持を優先する方針を採っている。

イタリア　2023年8月13日　Il Sole 24 ole

■ リグーリ州の高速道路，工事の遅滞と車の行列が発生。しかし完成すれば，あと60年は持続する見通し

Autostrade liguri, ritardi nei lavori e code. Ma per la rete 60 anni di vita in più

ポンテ・モランディ橋の崩壊後，年間にして2億5千万ユーロから3億ユーロの投資を必要とする現代化計画が開始された。2028年までに工事の完成が予定されている。同橋の崩壊後，リグーリ州全体の高速道路網が再度点検を受け，同地域の多くの道の安全点検が実施され，アウトストラーデ・イタリアが運営する同幹線網の現代化計画が開始された。同社のリグーリ州を含む区域の担当者によると，「インフラ整備の実施というよりは，新しい規範へのより一歩進んだ適応策としての現代化計画であり，あと50年から60年は持続させるつもりである」と述べている。

米国　2023年8月16日　GlobeNewswire

■ スマート・ハイウェイの市場規模および配当が，2030年までに846億ドルを超える見通し：ヴァンテージ市場調査機関

Smart Highway Market Size & Share to Surpass $84.6 Billion by 2030 | Vantage Market Research

スマート高速道路がここ数年，着実に発展した背景には，インテリジェント・トランスポーテーションとその分野の技術革新がある。交通分野における安全と効率を，出費を抑えながら実現し，交通渋滞解消と車の流れを改善することが必要となる際に，センサー，カメラおよびレーダーを利用して，適時，信号表示を変えたり，リアルタイムでインフラに変化を加えたりすることが起こりうる。交通量の増加と新型コロナウイルス流行などの事態にも対応できる対策をスマート高速道路が担うことになる。

フランス　2023年8月17日　Le Figaro

■ フランスの高速道路上に見える白いひし形のパネルは何なのか？

Que signifie ce nouveau panneau losange blanc qui apparaît sur les routes de France ?

白いひし形のパネルが点灯すると，1人しか乗車していない車両の通行が禁止される。3年間の実験を経て，カーシェアリングを行っている道路では2人以上が乗車した車両専用の車線を示す信号が設置される。より多くの市町村でその制度が採用されている。ここ4年間で成立した交通法などで，このカーシェアリング推進用の信号が設置されることになったが，違反した場合の1人1回当たりの罰金は135ユーロである。将来は温度を感知するレーダーを用いて，車両に乗った人の人数を確認する装置が採用される予定である。

フランス　2023年8月21日　La Tribune

■ 高速道路建設の受注会社に課税しても通行料金には影響しないであろうと運輸担当大臣のボーヌ氏は述べた

Taxer les concessionnaires d’ autoroute n’aura pas d’impact sur les péages, affirme Beaune

2024年の予算において，道路建設受注会社に対して追加の課税が実施されても，それが通行料金には影響しないとフランスの運輸担当大臣は述べた。これは空港建設について課税する場合と同様で，空港建設会社への課税は航空券の値上げにはつながらず，課税自体はエコロジカル・トランジション（環境移行）への投資として行われると説明されている。重車両，高速道路，空港建設への課税は，2040年までに実施される鉄道建設のためのフランス政府の1,000億ユーロ計画に使われる予定である。

米国　2023年8月24日　Equipment World

■ 建設材料に関するバイ・アメリカ法に対しガイドラインが決定

Guidelines Finalized for Buy America Act on Construction Materials

バイデン大統領の「ビルド・アメリカ，バイ・アメリカ法」に従う建設材料の使用に対する最終ガイダンスが

ホワイトハウスで発行された。この法は，より多くの米国製建設製品を使用することを政府出資プロジェクトに求めるために基準を拡大する1.2兆ドル規模の2021年インフラ法である。ホワイトハウスの行政予算管理局によるガイダンスの決定により，連邦政府資金によるインフラプロジェクトで使用する特定の製品，建設材料，鉄，鋼は米国で製造するという法の法定要件の施行が支持される。ガイダンスは連邦官報での発表から60日後に発効する。

米国　2023年8月25日　Construction Dive

■ 米国の橋のおよそ7%が「非常に悪い状態」

Nearly 7% of US bridges in poor condition

米国交通局橋梁台帳データベースの米国道路交通建設者協会による2023年の解析によると，米国のすべての橋の36%，222,000超のスパンが大規模な改修工事または架け替えを必要としている。この5年間で「非常に良い状態」の橋の割合が増え続けており，「非常に悪い状態」または「良い状態」のスパンの割合が減少した。連邦政府投資の増加のおかげでこの格差是正のため，より多くのお金が利用可能となっている。2022年議会調査局の報告によると，弱体化した橋の未処理分をなくすには，議会が高い財政支援レベルを保ったとしても20年が必要になるという。

米国　2023年8月25日　Roads & Bridges

■ 新たなコンクリート製法がワシントンの橋の寿命を延長

New Concrete Formula to Extend Lifespan of DC Bridge

新しい頑丈なコンクリート混合物が，適用後ワシントンの橋の寿命を延ばすと期待されている。細砂と鋼繊維で補強された超高性能コンクリートが南東部のスイットランド・パークウェイにかかるサザン・アベニュー・ブリッジに適用されることになる。超高性能コンクリートが同区で使用されるのは初めてである。連邦道路管理局によると，典型的なコンクリート混合物は推定で15～20年の寿命を有する。一方この新たなコンクリートは70年以上持つと期待されている。またこの新たなコンクリートをさらに供給可能とするさらなる連邦補助金が間もなく発表される予定である。

スペイン　2023年8月28日　EL PAÍS

■ スペインの大手高速道路建設会社，収益が上がらず保有株を売却する方向へ

Las grandes constructoras españolas venden activos por falta de rentabilidad

スペインの大手建設会社は収益が上がらないことを理由にスペイン国内の保有株を手放し，外国における受注契約を増やすために投資する資産を増幅させる方針である。フェロビアル，ACSおよびサシールはここ2年で保有株を売却し，その総額は70億ユーロで発注契約を増やすのに充分な資産となっている。前述の3社は売却して得た資金で新しい株を購入したりすることによって，米国での受注契約に結び付けたい意向である。例えばフェロビアルは，ニューヨーク市のJFK空港のターミナル建設に95億ユーロを投資する計画に参加している。

ドイツ　2023年9月5日　Spiegel

■ ドイツ人の所有車台数は過去最高を記録

Auf deutschen Straßen fahren so viele Autos wie noch nie

モーダルシフトが社会の最重要課題の1つと認識されて久しいが，ドイツ人は未だに個人所有の乗用車に固執しているようだ。連邦統計局によれば2022年の乗用車台数は過去最高の人口1,000人当たり583台で，2012年の同534台から上昇している。ただし地域的な格差が大きく，これは主に公共交通機関の発達と関連性があると思われる。1,000人当たりの台数が最も多かったのはザールラント州で660台，最少はベルリンで338台だった。とはいえ車両台数の増加と対照的に走行量は減少している。SPIEGEL誌の算出によれば2023年1月～5月の平

日に高速道路および連邦道路を通行した乗用車の数はコロナ以前との比較で 8.5% 減少した。

英国　2023 年９月６日　Highways Magazine

■ オックスフォードシャーが「カーボンニュートラル幹線道路プロジェクト」に取り組む

Oxfordshire working on ‘carbon-neutral highway project’

オックスフォードシャー州議会および請負業者であるマイルストーン・インフラストラクチャーが「カーボンニュートラル幹線道路」プロジェクトを遂行する意思を表明した。リサイクルされた持続可能な材料の使用，木や野草の植栽，太陽光発電交通信号により，チームはウォンテジの A417 レディングロードの側道の一部で取組みを行っている。プロジェクトには一例として，コンクリートキャンバス（建設期間の削減，環境影響の最小化，各種用途の耐久性といった利点を有するコンクリート修理に利用される柔軟なセメント含浸ファブリック）が含まれる。

米国　2023 年９月７日　Construction Dive

■ WSP 社がインフラプロジェクトへ３D プリントコンクリートを賭ける

WSP bets on ３D-printed concrete for infrastructure projects

WSP 社は将来建設業界ではより多くの３D プリントコンクリートを使うだろうと考えており，モントリオールに拠点を置く請負業者はそのための新たな用途（インフラ/クリーンエネルギープロジェクトを含む）を研究している。科学誌の MDP によるとこの方法は人件費，廃棄物，計画時間を減らす助けとなる。３D プリントコンクリートでは，ロボットがコンクリートビーズを層にして土台から構造物を築き，型枠なしで不規則な形状をプリントでき，これは垂直建設に適している。しかし課題は残っており，新たな技術や建築革新が基準法に組み込まれるにはかなり長い時間が必要となる。

ドイツ　2023 年９月８日　Il Fatto Quotidiano.it

■ 電気自動車について，ドイツは個人が利用する充電装置を増設希望：太陽光発電と蓄電池に関連する支援策を新たに実施する意向

Auto elettriche, la Germania vuole aumentare le colonne di ricarica private：il nuovo piano di aiuti vincolato a fotovoltaico e accumulator

９月 26 日からドイツでは，電気自動車の充電装置の設置のために新たな融資が実施される。１世帯につき 900 ユーロである。ドイツでは電気自動車購入のための奨励金が少なく，充電装置も普及していないことから通常のガソリン自動車が未だに好まれている。今後この奨励金を増やし，電気自動車をより多く購入させ，充電装置・太陽光パネル・蓄電池・双方向充電装置をさらに設置・普及させることが，現在５台に１台しか見られない電気自動車を増やす方策として検討されている。

スペイン　2023 年９月 11 日　Mitma

■ スペインは欧州基金から 6,700 万ユーロの融資を受け，3,437 カ所の電気自動車充電所と２つのエコステーションを展開予定

España logra 67 millones de euros de fondos europeos para desplegar 3.437 puntos de recarga eléctricos y dos hidrogeneras

スペイン政府の運輸省などが認可した７つの企業プロジェクトについて，代替燃料インフラを議題とする「コネクティング・ヨーロッパ・ファシリティ（CEF)」の第４招集会議の枠組み内で，財政支援が決定した。電気自動車充電所は電力が 125 kw から 400 kw までで，スペイン全土を網羅するトランスヨーロッパ交通ネットワークの都市間道路において設置される。その他 37 の飛行場で，444 台の電気自動車充電ステーションが地上での移動車両用に設置される。水素燃料の供給所は，高速道路 A-7 と A-1 で重車両用に設置される。